

決算報告書

貸借対照表
正味財産増減計算書
正味財産増減計算書内訳表
財務諸表に対する注記
附属明細書
財産目録
収支計算書
収支計算書に対する注記

自 平成 28 年(2016 年)4 月 1 日
至 平成 29 年(2017 年)3 月 31 日

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,435,576	42,602,822	7,832,754
棚卸資産	280,000	285,000	△5,000
未収金	8,842,188	10,919,401	△2,077,213
前払費用	235,449	275,103	△39,654
前渡金	13,800	-	13,800
流動資産合計	59,807,013	54,082,326	5,724,687
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	-
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,130,000	7,910,000	1,220,000
記念事業積立資産	6,501,229	5,501,229	1,000,000
青少年育成基金引当資産	9,106,392	9,106,392	-
復興支援事業引当資産	921,770	18,791	902,979
互助会基金積立資産	25,791,121	25,791,121	-
特定資産合計	51,450,512	48,327,533	3,122,979
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	-
電話加入権	143,808	143,808	-
その他固定資産合計	143,809	143,809	-
固定資産合計	71,594,321	68,471,342	3,122,979
資産合計	131,401,334	122,553,668	8,847,666
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,969,282	20,657,014	312,268
未払法人税等	70,000	70,000	-
未払消費税等	2,095,000	1,712,300	382,700
預り金	303,497	279,913	23,584
流動負債合計	23,437,779	22,719,227	718,552
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,130,000	7,910,000	1,220,000
固定負債合計	9,130,000	7,910,000	1,220,000
負債合計	32,567,779	30,629,227	1,938,552
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
青少年育成基金	9,106,392	9,106,392	-
指定正味財産合計	9,106,392	9,106,392	-
(うち特定資産への充当額)	(9,106,392)	(9,106,392)	-
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	89,727,163	82,818,049	6,909,114
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	-
(うち特定資産への充当額)	(33,214,120)	(31,311,141)	(1,902,979)
正味財産合計	98,833,555	91,924,441	6,909,114
負債及び正味財産合計	131,401,334	122,553,668	8,847,666

正味財産増減計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	10,421	5,600	4,821
基本財産受取利息	10,421	5,600	4,821
②特定資産運用益	413	7,963	△7,550
特定資産受取利息	413	7,963	△7,550
③受取入会金	200,000	-	200,000
受取入会金	200,000	-	200,000
③受取会費	20,700,000	20,500,000	200,000
正会員受取会費	15,000,000	15,000,000	-
準会員受取会費	1,800,000	1,600,000	200,000
賛助会員受取会費	3,900,000	3,900,000	-
④事業収益	172,336,144	148,662,571	23,673,573
主催事業収益	2,792,500	3,288,000	△495,500
委託事業収益	109,168,773	94,356,613	14,812,160
調査研究事業収益	4,202,000	4,188,000	14,000
青少年育成事業収益	1,899,546	924,000	975,546
著作権代行事業収益	45,586,525	37,279,158	8,307,367
連盟ニュース制作事業収益	8,686,800	8,626,800	60,000
⑤受取助成金	3,600,000	2,400,000	1,200,000
受取民間助成金	3,600,000	2,400,000	1,200,000
⑥雑収益	289,882	188,152	101,730
受取利息	282	5,750	△5,468
雑収益	289,600	182,402	107,198
経常収益合計	197,136,860	171,764,286	25,372,574
(2) 経常費用			
①事業費	178,273,502	158,442,821	19,830,681
給料手当	15,069,600	15,860,800	△791,200
退職給付費用	1,012,600	597,600	415,000
法定福利費	2,428,822	2,495,377	△66,555
厚生費	70,585	92,552	△21,967
支払出演料	17,980,659	11,417,659	6,563,000
音楽費	2,763,823	1,547,620	1,216,203
文芸費	-	65,664	△65,664
会場費	7,320,742	5,053,040	2,267,702
諸謝金	11,216,767	11,924,315	△707,548
旅費	41,379,151	45,667,835	△4,288,684
通信運搬費	3,487,699	3,272,800	214,899
広告宣伝費	8,183,995	5,470,385	2,713,610
印刷費	4,827,343	4,716,855	110,488
記録費	815,400	753,000	62,400
手数料	1,414,259	748,685	665,574
交際費	286,161	193,466	92,695
会議費	635,062	354,993	280,069
消耗品費	450,144	433,093	17,051
消耗什器品費	4,150	110,390	△106,240
雑役務費	9,540,491	7,140,327	2,400,164
水道光熱費	550,329	552,646	△2,317
諸会費	-	37,037	△37,037
委託費	1,578,787	-	1,578,787
調査研究費	-	3,024	△3,024
減価償却費	-	2	△2
貸借料	1,536,474	1,537,205	△731
租税公課	3,311,693	2,982,460	329,233
著作権使用料	41,229,932	33,691,874	7,538,058
雑費	1,178,834	1,722,117	△543,283

②管理費	< 11,952,700 >	< 11,914,844 >	< 37,856 >
給料手当	3,330,400	2,539,200	791,200
退職給付費用	207,400	122,400	85,000
法定福利費	536,773	399,492	137,281
厚生費	11,886	18,956	△7,070
諸謝金	1,620,770	1,660,415	△39,645
旅費	2,807,983	3,507,425	△699,442
通信運搬費	127,348	133,094	△5,746
手数料	355,050	208,868	146,182
交際費	397,596	451,859	△54,263
会議費	901,205	1,051,244	△150,039
消耗品費	83,824	82,266	1,558
消耗什器品費	850	22,610	△21,760
雑役務費	17,902	—	17,902
水道光熱費	112,718	113,193	△475
諸会費	381,000	419,000	△38,000
調査研究費	101,438	99,584	1,854
減価償却費	—	1	△1
賃借料	314,700	314,849	△149
租税公課	643,807	571,540	72,267
雑費	50	198,848	△198,798
経常費用合計	190,226,202	170,357,665	19,868,537
当期経常増減額	6,910,658	1,406,621	5,504,037
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	—	—	—
(2) 経常外費用			
為替差損	1,544	25,609	△24,065
固定資産除却損	—	1	△1
経常外費用合計	1,544	25,610	△24,066
当期経常外増減額	△1,544	△25,610	24,066
当期一般正味財産増減額	6,909,114	1,381,011	5,528,103
一般正味財産期首残高	82,818,049	81,437,038	1,381,011
一般正味財産期末残高	89,727,163	82,818,049	6,909,114
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	—	—	—
指定正味財産期首残高	9,106,392	9,106,392	—
指定正味財産期末残高	9,106,392	9,106,392	—
III 正味財産期末残高	98,833,555	91,924,441	6,909,114

正味財産増減計算書内訳表

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部消去	合 計
	公1 (注1)	他1 (注2)			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	< 10,421 >	< - >	< - >	< - >	< 10,421 >
基本財産受取利息	10,421	-	-	-	10,421
②特定資産運用益	< 413 >	< - >	< - >	< - >	< 413 >
特定資産受取利息	413	-	-	-	413
③受取入会金	< - >	< - >	< 200,000 >	< - >	< 200,000 >
受取入会金	-	-	200,000	-	200,000
④受取会費	< 8,947,300 >	< - >	< 11,752,700 >	< - >	< 20,700,000 >
正会員受取会費	4,500,000	-	10,500,000	-	15,000,000
準会員受取会費	547,300	-	1,252,700	-	1,800,000
賛助会員受取会費	3,900,000	-	-	-	3,900,000
⑤事業収益	< 126,749,619 >	< 45,586,525 >	< - >	< - >	< 172,336,144 >
主催事業収益	2,792,500	-	-	-	2,792,500
委託事業収益	109,168,773	-	-	-	109,168,773
調査研究事業収益	4,202,000	-	-	-	4,202,000
青少年育成事業収益	1,899,546	-	-	-	1,899,546
著作権代行事業収益	-	45,586,525	-	-	45,586,525
連盟ニュース制作事業収益	8,686,800	-	-	-	8,686,800
⑥受取助成金	< 3,600,000 >	< - >	< - >	< - >	< 3,600,000 >
受取民間助成金	3,600,000	-	-	-	3,600,000
⑦雑収益	< 289,882 >	< - >	< - >	< - >	< 289,882 >
受取利息	282	-	-	-	282
雑収益	289,600	-	-	-	289,600
経常収益合計	139,597,635	45,586,525	11,952,700	-	197,136,860
(2) 経常費用					
①事業費	< 135,005,451 >	< 43,268,051 >	< - >	< - >	< 178,273,502 >
給料手当	13,836,800	1,232,800	-	-	15,069,600
退職給付費用	939,400	73,200	-	-	1,012,600
法定福利費	2,230,127	198,695	-	-	2,428,822
厚生費	66,390	4,195	-	-	70,585
支払出演料	17,980,659	-	-	-	17,980,659
音楽費	2,763,823	-	-	-	2,763,823
会場費	7,320,742	-	-	-	7,320,742
諸謝金	11,216,767	-	-	-	11,216,767
旅費	41,379,151	-	-	-	41,379,151
通信運搬費	3,442,753	44,946	-	-	3,487,699
広告宣伝費	8,183,995	-	-	-	8,183,995
印刷費	4,827,343	-	-	-	4,827,343
記録費	815,400	-	-	-	815,400
手数料	1,414,259	-	-	-	1,414,259
交際費	286,161	-	-	-	286,161
会議費	635,062	-	-	-	635,062
消耗品費	420,559	29,585	-	-	450,144
消耗什器品費	3,850	300	-	-	4,150
雑役務費	9,534,172	6,319	-	-	9,540,491
水道光熱費	510,546	39,783	-	-	550,329
委託費	1,578,787	-	-	-	1,578,787
賃借料	1,425,404	111,070	-	-	1,536,474
租税公課	3,014,467	297,226	-	-	3,311,693
著作権使用料	-	41,229,932	-	-	41,229,932
雑費	1,178,834	-	-	-	1,178,834

②管理費	< - >	< - >	< 11,952,700 >	< - >	< 11,952,700 >
給料手当	-	-	3,330,400	-	3,330,400
退職給付費用	-	-	207,400	-	207,400
法定福利費	-	-	536,773	-	536,773
厚生費	-	-	11,886	-	11,886
諸謝金	-	-	1,620,770	-	1,620,770
旅費	-	-	2,807,983	-	2,807,983
通信運搬費	-	-	127,348	-	127,348
手数料	-	-	355,050	-	355,050
交際費	-	-	397,596	-	397,596
会議費	-	-	901,205	-	901,205
消耗品費	-	-	83,824	-	83,824
消耗什器品費	-	-	850	-	850
雑役務費	-	-	17,902	-	17,902
水道光熱費	-	-	112,718	-	112,718
諸会費	-	-	381,000	-	381,000
調査研究費	-	-	101,438	-	101,438
貸借料	-	-	314,700	-	314,700
租税公課	-	-	643,807	-	643,807
雑費	-	-	50	-	50
経常費用合計	135,005,451	43,268,051	11,952,700	-	190,226,202
当期経常増減額	4,592,184	2,318,474	-	-	6,910,658
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益合計	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用					
為替差損	1,544	-	-	-	1,544
経常外費用合計	1,544	-	-	-	1,544
当期経常外増減額	△1,544	-	-	-	△1,544
他会計振替額	1,159,237	△1,159,237	-	-	-
当期一般正味財産増減額	5,749,877	1,159,237	-	-	6,909,114
一般正味財産期首残高	79,934,568	2,883,481	-	-	82,818,049
一般正味財産期末残高	85,684,445	4,042,718	-	-	89,727,163
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	9,106,392	-	-	-	9,106,392
指定正味財産期末残高	9,106,392	-	-	-	9,106,392
III 正味財産期末残高	94,790,837	4,042,718	-	-	98,833,555

(注1) 交響楽の振興と普及に関わる公益目的事業

(注2) 加盟会員向けのその他の事業

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産： 定率法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金： 職員の退職給付に備えるため、内規に基づき当年度末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	—	20,000,000
小計	20,000,000	—	—	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,910,000	1,220,078	78	9,130,000
記念事業積立資産	5,501,229	1,000,054	54	6,501,229
青少年育成基金引当資産	9,106,392	90	90	9,106,392
復興支援事業引当資産	18,791	902,979	—	921,770
互助会基金積立資産	25,791,121	191	191	25,791,121
小計	48,327,533	3,123,392	413	51,450,512
合計	68,327,533	3,123,392	413	71,450,512

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	9,130,000	—	—	(9,130,000)
記念事業積立資産	6,501,229	—	(6,501,229)	—
青少年育成基金引当資産	9,106,392	(9,106,392)	—	—
復興支援事業引当資産	921,770	—	(921,770)	—
互助会基金積立資産	25,791,121	—	(25,791,121)	—
小計	51,450,512	(9,106,392)	(33,214,120)	(9,130,000)
合計	71,450,512	(9,106,392)	(53,214,120)	(9,130,000)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	322,140	322,139	1
合計	322,140	322,139	1

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
助成金 オーケストラの日2017	(公財)ローム ミュージック ファンデーション	—	300,000	300,000	—	—
	(公財) 日本音楽財団	—	1,800,000	1,800,000	—	—
オーケストラサミット 2016	(公財) 朝日新聞文化財団	—	100,000	100,000	—	—
	(公財)関西・大阪 21世紀協会	—	1,400,000	1,400,000	—	—
合計		—	3,600,000	3,600,000	—	—

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3. で記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,910,000	1,220,000	—	—	9,130,000

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額			
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	(50,435,576)		
		普通預金		1,111,090		
		みずほ銀行 錦糸町支店	運転資金として	43,981,228		
		三菱東京UFJ銀行 錦糸町支店	〃	5,274,441		
		ゆうちょ銀行 〇一九店	〃	23,051		
		みずほ銀行 錦糸町支店	〃	45,766		
	棚卸資産	アフィニスCD 56個	公1・公益目的事業に係る資産	(280,000)		
				280,000		
	未収金	「オーケストラの日」	公1・主催事業に係るもの	(8,842,188)		
		チケット代ほか		3,343,000		
		JASRAC音楽著作物使用料	他1・著作権代行事業に係るもの	2,474,188		
		オケ連ニュース広告料	公1・広報広告事業に係るもの	2,455,200		
		「子どもたちと芸術家」	公1・青少年育成事業に係るもの	324,000		
		年会費	公1・運転資金として	200,000		
前払費用	その他	公1・運転資金として	45,800			
	労働保険	労働保険料の前払費用	(235,449)			
	ASEANオーケストラ支援事業	公1・委託事業に係るもの	135,449			
			100,000			
前渡金	文京アカデミー	公1・運転資金として	(13,800)			
			13,800			
流動資産合計			59,807,013			
(固定資産)	基本財産	定期預金	三菱東京UFJ銀行 錦糸町駅前支店	公益目的保有財産、運用益を公益目的事業の 財源として使用	(20,000,000)	
					20,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	普通預金	三菱東京UFJ銀行 錦糸町支店	職員4名に対する退職金支払いに備えたもの	(51,450,512)
		記念事業積立資産	普通預金	三菱東京UFJ銀行 大久保支店	公益目的保有財産、同事業の財源として積立	9,130,000
		青少年育成基金	普通預金	みずほ銀行 錦糸町支店	公益目的保有財産、同事業の財源として積立	6,501,229
		引当資産	普通預金	三菱東京UFJ銀行 錦糸町支店	公益目的保有財産、同事業の財源として積立	9,106,392
		復興支援事業	普通預金	三菱東京UFJ銀行 錦糸町支店	公益目的保有財産、同事業の財源として積立	921,770
		引当資産	普通預金	みずほ銀行 錦糸町支店	公益目的保有財産、同事業の財源として積立	22,105,937
		互助会基金積立	普通預金	三井住友銀行 新宿西口支店	公益目的保有財産、同事業の財源として積立	3,685,184
		資産				
その他	什器備品	パーソナルコンピュータ2台	公益目的事業保有財産他(供用資産)	(1)		
固定資産				1		
	電話加入権	固定電話 03-5610-7275、7276	公益目的事業保有財産他(供用資産)	(143,808)		
				143,808		
固定資産合計			71,594,321			
資産合計			131,401,334			

(流動負債)	未払金	制作費 戦略的芸術文化創造推進事業 「オーケストラの日」 音楽著作物使用料等 オーケストラ年鑑 明日を担う2017 連盟ニュース	公1・公益目的事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 他1・著作権代行事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分 公1・公益目的事業に供する経費未払分	(20,969,282) 6,049,024 4,856,437 4,616,544 2,439,820 1,134,376 881,923
		地代家賃 墨田区役所 その他	公益目的事業に供する経費未払分	545,305
		会議費 事務用品費 交通費 会計業務委託費 通信費	公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分 公益目的事業に供する経費未払分	243,296 86,169 58,058 55,620 2,710
	未払法人税等	台東区税事務所	他1・収益目的事業等に係る未払法人税等	(70,000) 70,000
	未払消費税等	本所税務署	未払消費税等	(2,095,000) 2,095,000
	預り金	本所税務署 住民税	源泉所得税	(303,497) 253,497 50,000
流動負債合計				23,437,779
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員4名に対する退職金支払いに備えたもの	(9,130,000) 9,130,000
固定負債合計				9,130,000
負債合計				32,567,779
正味財産				98,833,555

注 事業の定義は下記のとおりである。
公1 (公益目的事業) : 交響楽の振興と普及に関わる事業
他1 (収益事業等) : 加盟会員向け事業

監 査 報 告 書

平成 29 年 5 月 16 日

公益社団法人 日本オーケストラ連盟
理事長 児 玉 幸 治 殿

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

監事 千葉和彦 
千 葉 和 彦

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

監事 支倉二二男 
支 倉 二 二 男

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示していると認めます。

以上